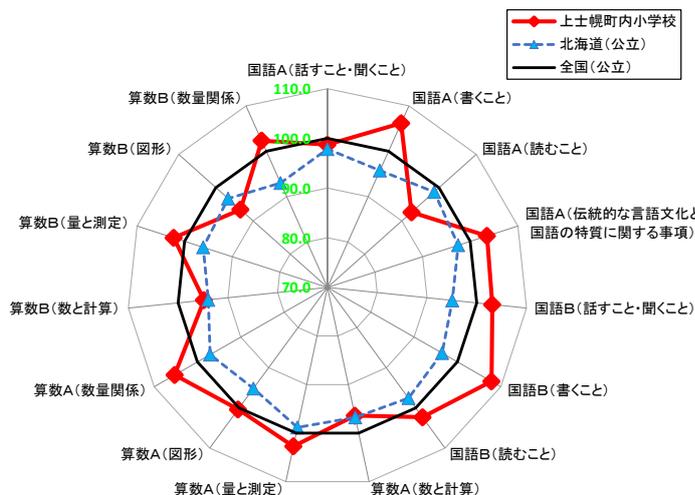


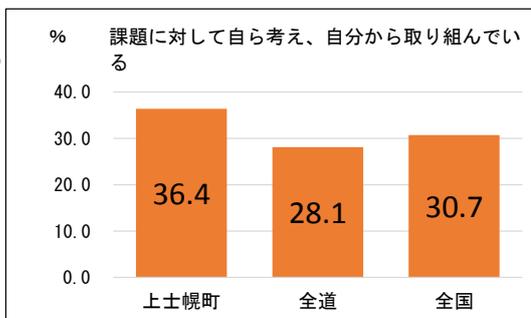
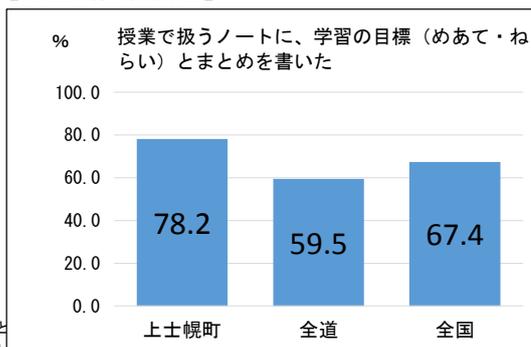
■上士幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:55名)

【教科全体の状況】

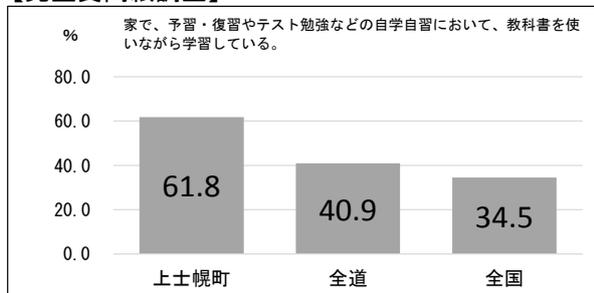
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



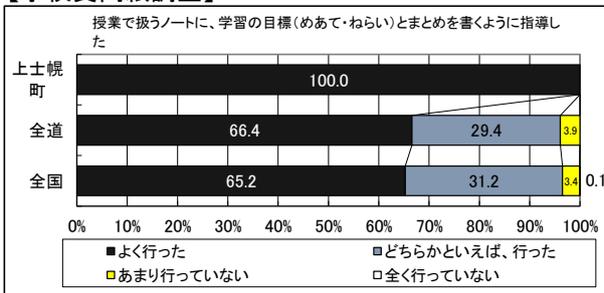
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、すべての領域で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」「図形」「数量関係」、Bでは、「量と測定」「数量関係」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、授業で扱うノートに目標(めあて・ねらい)やまとめを書くように指導した結果、課題に対して自ら考え、自分から取り組んでいると回答した児童が増え、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等がバランスよくはぐまれてきていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、生活習慣を基盤とした家庭学習の充実に取り組んだ結果、家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習する児童が増えたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答している。 	

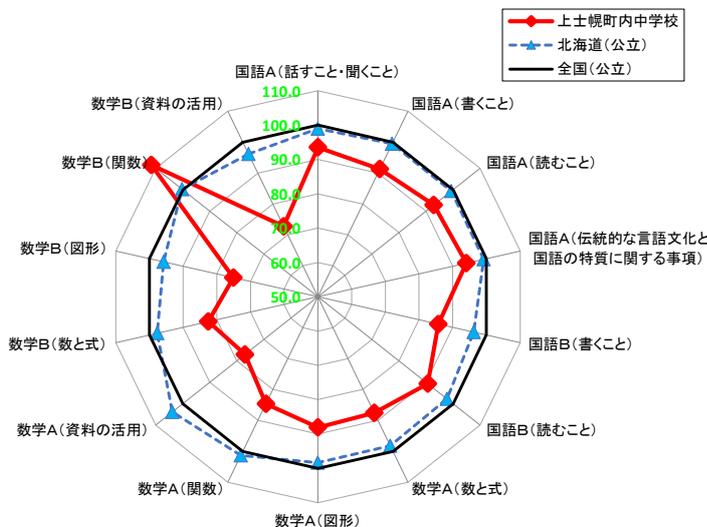
【上士幌町の学力向上策】

- ◎ 「上士幌町小中学校改善支援プラン」を基盤とした指導の改善に向けた取組の推進
- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着
- ◎ チャレンジテスト等を活用したサポート学習の充実
- ◎ 学習規律と生活習慣の確立を基盤とした家庭学習の充実

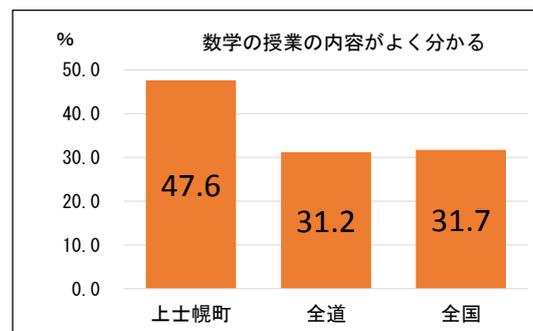
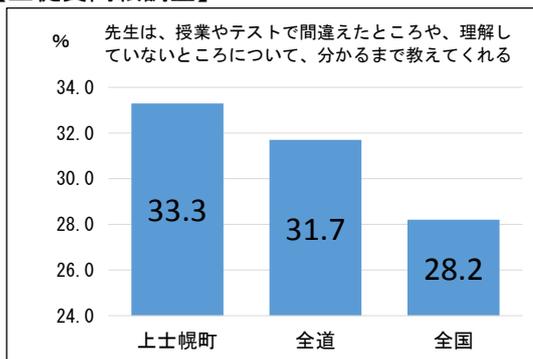
■上士幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:42名)

【教科全体の状況】

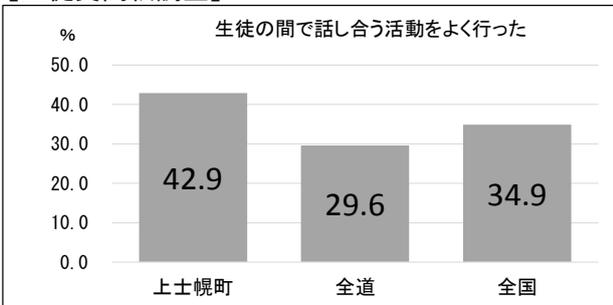
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



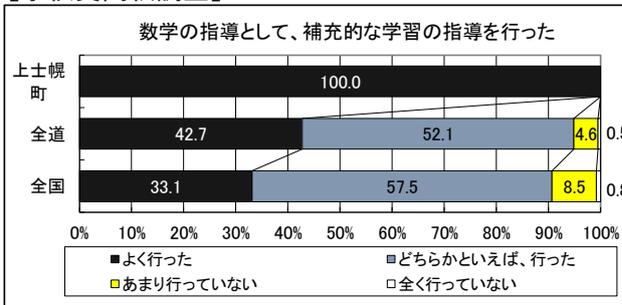
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
数学B	○ 数学Bでは、「関数」で、全国を上回っている。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。
生徒質問紙	○ 数学の指導として補充的な学習の指導を行った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると回答した生徒が増えたと考えられる。 ○ チャレンジテスト等を活用したサポート学習の充実を図った結果、数学の授業内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が増え、数学B「関数」で、全国を上回ったと考えられる。

【上士幌町の学力向上策】

- ◎ 「上士幌町小中学校改善支援プラン」を基盤とした指導の改善に向けた取組の推進
- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着
- ◎ チャレンジテスト等を活用したサポート学習の充実
- ◎ 学習規律と生活習慣の確立を基盤とした家庭学習の充実